

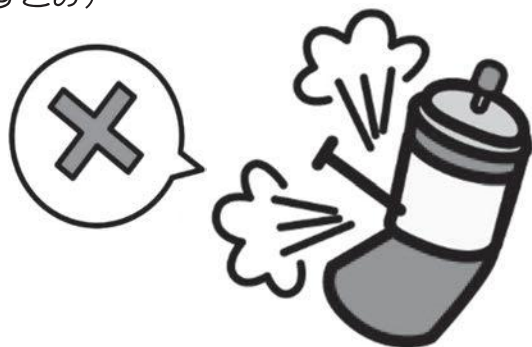
スプレー缶やカセットボンベの捨て方

スプレー缶やカセットボンベには、可燃性ガスが使われているため、誤った方法でガス抜きを行うと火災事故につながります。また、中身が残ったスプレー缶が原因で、ごみ収集車の火災が起きています。その処分方法について、今一度確認しましょう。

スプレー缶



- 1 缶を振って中身の有無を確認。「シャカシャカ」「チャプチャプ」と音がしたら、まだ中身が残っています。この段階でごみ袋に入れることは出来ません！
- 2 スプレー缶のほとんどの商品には、中身が出し切れるよう「ガス抜きキャップ」が付いています。**風通しが良く、火気のない屋外**で中身を使い切りましょう。ガスの抜き方は、各メーカーで異なります。缶に記載されている取扱説明文や、メーカーのホームページでご確認ください。
- 3 「資源ごみ」の袋に入れ、ごみカレンダーで指定された日に出してください。（キャップはもやすごみ）



室内でのガス抜きや、穴開けによるガス抜きは大変危険です。

カセットボンベ



ガス抜きキャップはついていませんが、2007年4月生産分のカセットコンロより、ヒートパネル（容器加温装置）が搭載されています。これは、最後まで強い火力を維持し、ガスを使い切ることができる装置です。炎が消えてから「資源ごみ」として出してください。

また、中身が残っていると思われるときは、**風通しが良く、火気のない屋外**で、缶の先端部分（ノズル）をコンクリート等の硬いものに押し付けて、ガス抜きを行ってください。



お使いのカセットコンロの点検と管理についてもお願いします。

よくある問い合わせにお答えします

環境衛生課には、分別についての問い合わせが多く寄せられます。近頃多い問い合わせ品目についてお答えします。

◆ソーラーガーデンライト

20cm以内のプラスチック製のものは、「もやすごみ」の袋に入れてください。ガラス製や電球が使われているものは「埋立ごみ」の袋に入れてください。電池が内蔵されているものは、必ず外してください。(乾電池は埋立ごみ、充電式電池は店頭回収へ) 20cmを超えるものは、粗大ごみとして出してください。粗大ごみの出し方は、ごみカレンダーで確認してください。

◆石油ファンヒーター

残った灯油は抜き取り、粗大ごみとして出してください。また、ポリタンクや給油ポンプも粗大ごみです。ごみステーションには出せません！

◆パソコン

製品のメーカーで回収・リサイクルすることが法律で決まっています。各メーカーの窓口にお問い合わせるかホームページをご確認ください。また、プリンタやスキャナはメーカーで取り扱いしていません。粗大ごみとして出してください。

《市では、春と秋に使用済小型家電の無料回収を実施していますのでご利用ください》

◆ガラス製のテーブルや人形ケース

粗大ごみとして出してください。細かく割れた場合は、紙などに包んで「埋立ごみ」の袋に入れ、ごみカレンダーで指定された日に出してください。

来年度のごみカレンダーの配布は？

平成31年4月以降のごみカレンダーは、**市広報3月16日号**と一緒にお届けします。お手元に届かない場合は、市役所1階市民課待合ロビー又は各コミュニティセンター、各総合支所、環境衛生課でお受け取りできます。

ごみ出し基本ルールはご存知ですか？ ごみカレンダーでご確認ください。

- その1 指定された日の朝に出します。
- その2 自分の住んでいる地区以外のごみステーションには出せません。
- その3 ごみの分別を守り、指定のごみ袋で出します。
- その4 商店や事業所のごみは出せません。